

「価値にこだわられた体育大会」



9月に入ってから、団リーダーが朝や放課後や土日に来て草抜きを始めました。それを見た生徒会が、草抜きボランティアを募集しました。そして、応援団だけではなく多くの3年生が草抜きボランティアに参加していました。



また、事前取り組みでは3年生として、どのクラスも取り組みパーフェクトを何日も取ったり、なかなか取り組みが上手いかないう下級生のクラスにアイデアを出したり、給食時に声をかけに行ったりする姿もありました。さらに、練習の中でも、大縄で困っている下級生に縄の回し方を姿で見せる姿もありました。

当日でも、競技だけではなく、係の仕事をきびきび行ったり、団席で声を枯らすまで下級生を応援したりする姿がありました。9月の学年通信で書いた「価値にこだわること」が想像以上の姿で現れ、改めて3年生の頼もしさを感じ、見ていても清々しい気分になりました。翌日の各クラスの振り返りを見ても、「最高の体育大会だった」「楽しかった」と勝ち負け関係なく話している人が多くいて、充実した体育大会になったのだと実感しました。今後は、それを日常につなげていくことが大切です。



体育大会が終わり、後期に向けて組織作りが始まり、組織としても動き出していきます。体育大会では、力の強い子が縄回しを引き受けたり、足の速い子がリレーのスタートやアンカーを引き受けたり、1人ひとりがどこで何をするとよいのかを考えて行動してきました。組織決めも同じです。最後の組織決めだからこそ、半年後の卒業式や学級解散式を見据えて、「自分がどの係をやることで学級・学校がよりよくなるか」も考えて決めていきましょう。

保護者の皆様

お忙しい中、お子さんの応援に来ていただきありがとうございました。競技に、係に、応援に一生懸命に取り組む生徒の姿、成長をみていただけたかと思えます。中学校生活も残り半年となりましたが、今後も生徒の成長を願いながら関わっていきます。よろしくお祈りします。